

北大阪健康医療都市「健都」の取り組みについて

○松本暁彦議員

それでは、順位に基づきまして、一般質問をさせていただきます。初めての一般質問でございます。よろしくお願いいたします。

本日、3項目について、質問いたします。まず、1点目の質問です。吹田市、摂津市の両市にまたがって行われている国立循環器病研究センターの移転に伴うJR岸辺・千里丘駅一帯のまちづくり、北大阪健康医療都市、健都について、これまでのまちづくりの経緯、現在の取り組みの状況、そして、本市における意義についてお聞かせください。

○藤浦雅彦議長

休憩前に引き続き、再開します。それでは、答弁を求めます。保健福祉部理事。

（平井保健福祉部理事 登壇）

○平井保健福祉部理事

北大阪健康医療都市のまちづくりの経緯、現在の取り組み状況、本市の意義についてのご質問にお答えいたします。

摂津市と吹田市にまたがる吹田操車場につきましては、昭和59年にその役割を終えまして、その後、跡地の有効利用の検討が進められ、平成18年2月に大阪府や地元自治体等により協定を締結し、吹田操車場跡地のまちづくりが始まりました。その後、さまざまな議論がなされる中、平成25年に現在、吹田市藤白台にございます国立循環器病研究センターが、吹田操車場跡地に移転することが決定しまして、この地を北大阪健康医療都市、愛称健都と命名いたしまして、健康医療をコンセプトとしましたまちづくりを進めているところでございます。

健都のまちづくりに当たりましては、当センター、国、大阪府、地元自治体、経済界等により構成される医療クラスター形成会議におきまして、まちづくりの大きな方向性を。また、地元自治体や医療関係者等で構成される吹田操車場跡地を中心とした健康医療のまちづくり会議では、地域医療のあり方等を。さらには、国立循環器病研究センターを核とした医療クラスター推進協議会では、健都イノベーションパークにおける企業誘致等に関する協議や調整など、さまざまな機会を設けまして関係者が一体となり、まちづくりを進めております。

次に、本市における健都のまちづくりの意義についてでございます。国立循環器病研究センターを中心とした循環器病の予防・制圧に向けた取り組みなどにより、市民の健康寿命の延伸が、また、健都イノベーションパークに企業誘致を行うことにより、市内産業の活性化などが期待され、健都を中心に本市が健康医療のまちとして、全国に発信されることが期待されるものと考えております。

○藤浦雅彦議長
松本議員。

○松本暁彦議員

それでは、2回目の質問を一問一答方式にてさせていただきます。

まずは、健都の件でございますが、健康と医療のまちづくりを行う本市にとって、非常に重要な事業であることは、先ほどの答弁で認識させていただきました。そして、それは本市だけではなく、国、大阪府、吹田市も同様に力を入れている事業と認識しています。吹田市には厚生労働省から健都担当職員が派遣をされ、そして、本市におきましても平井理事が大阪府から出向をいただいている。いかに力を入れているか、これだけでも明白です。この国家プロジェクトを成功させるべく、本市にはその一翼をしっかりと担うことが求められています。

では、もっと焦点を絞って話をさせていただきます。この健都のまちづくりの中で、現在、特に重要なのは摂津市域にあるイノベーションパークと考えています。健都イノベーションパークへの企業進出は、本市にとって、健康・医療のまちづくりの推進、地域の活性化、税収増などに大きく寄与することに間違いありません。

さて、平成28年度には吹田市がイノベーションパークの所有地の一部を公募型プロポーザル方式により、優先交渉権者を選定したとお聞きしていますが、本市のイノベーションパークへの企業誘致に向けた庁内体制及び取り組み状況についてお聞かせください。

○藤浦雅彦議長
市民生活部理事。

○小林市民生活部理事

健都イノベーションパークへの企業誘致に向けた庁内体制及び取り組み状況についてのご質問にお答えいたします。

健都イノベーションパークへの企業誘致につきましては、健康と医療をキーワードに先端的な研究開発を行う企業等の研究施設等を集積させ、医療クラスターの形成を図るため、大阪府、国立循環器病研究センター、吹田市、摂津市で構成する国立循環器病研究センターを核とした医療クラスター推進協議会等において、情報交換、意見交換、調整を行いながら取り組んでいるところでございます。健都イノベーションパークへの企業誘致は、予防医療と健康増進のまち摂津を広く国内外に発信できるチャンスであり、また、進出企業と地元企業とのマッチングは、地域の産業振興、雇用拡大にもつながるものと考えております。

本市では、これまでも健都イノベーションパークへの企業誘致を視野に入れた企業立地等促進条例の一部改正のほか、健康医療関連企業等の動向についての情報収集、関連する企業セミナーへの参加など、ニーズ把握、PRに努めているところでございます。

今後も産業振興、健康医療担当課を中心とした関係各課に加えまして、吹田市初め関係機関ともさらに連携を深め、健都イノベーションパークのコンセプトに沿った企業の誘致に向け、取り組みを進めてまいりたいと考えております。

○藤浦雅彦議長
松本議員。

○松本暁彦議員

先ほどの答弁についてですが、健都のポテンシャルは非常に高く、とりわけ、健都イノベーションパークの企業誘致は、本市にとって最も重要な施策であると思います。

現在、1者が優先交渉権者として選定されています。今後において、まだまだ大きな可能性を有している中で、より一層のてこ入れが必要ではないでしょうか。吹田市ではイノベーションパークを扱う北大阪健康医療都市推進室という部署があり、その人員は技術職も含めると、十四、五人であります。ともすれば、イノベーションパークの企業誘致に伴う利点は、本市が大きいところ、担当課はあっても専門の担当職員もなく、明らかにマンパワーが不十分な貧弱な体制であると思います。企業の誘致は本市にとって、先ほど説明されたように、予防医療と健康増進のまち摂津の実現に欠かせません。研究成果での連携を行って、市民の健康長寿への可能性を高め、また、商業施設や住宅等の増加による千里丘一帯の発展、そして、税収増による財政への貢献につながります。しっかりと力を入れていただきたいと思います。

さて、今後、企業誘致に当たって健都の認知度を高めることが非常に重要だと考えますが、現在の健都のPRの取り組み状況や市民の認知度についてお聞かせください。

○藤浦雅彦議長
保健福祉部理事。

○平井保健福祉部理事

健都のPRの状況、市民の認知度につきましてのご質問にお答えいたします。

現在、健都のPRにつきましては、本市と吹田市を中心にポータルサイトを開設しまして、まちづくりの概要や各街区の進捗状況等を適宜更新しまして、発信しているところでございます。また、PRパンフレットの配布、摂津まつりや市民健康まつり等の各種イベントでのブース活動。あるいは、市民公開講座や健康教室等での広報活動など、さまざまな機会を通じまして、市民の皆様へ情報発信を行っているところでございます。

また、健都に対する市民の皆様の認知度につきましては、こうした活動を通じての感触ではございますが、まだまだ十分とは言えない状況であると認識しているところでございまして、今後ともさまざまな手法を通じまして、より一層健都のPRに努めてまいりたいと存じ上げます。

○藤浦雅彦議長
松本議員。

○松本暁彦議員

先ほどの答弁についてですが、まだまだPRは不十分かと思います。健都と言ってわからない方が非常に多いのが実情ではないかと思います。たとえ知っている場合でも、特に安威川以南では、健都は千里丘の事業であり、我々には関係ないと思っている住民が多く、その対策が必要であると思います。市全体が取り組むために、多くの協力を得るために、まず知ってもらうことが必要です。よりよいPRは住民の協力と、そして、効果的な企業誘致への相乗効果を生むことでしょう。

健都のまちづくりは、国、大阪府、吹田市、そして、本市にとって非常に重要であり、日本の健康医療産業を左右する事業であります。あわせて、本市の健康・医療のまちづくりの実現に大きく寄与し、健康長寿の市民生活につながるものと確信しています。

本市として、この健都のまちづくり体制を一層、強化する必要があると考えます。そこで3点を要望いたします。

1点目は、健都イノベーションパークの担当職員の増員。要すれば、吹田市役所への配置を要望いたします。これは明らかに不足しているマンパワーを確保するとともに、吹田市との連携を一層密にして、本市にとって有用な企業を誘致できる可能性を向上させることを意図しております。

2点目は、健都ポスターの作成及び地域の貼り出しを要望いたします。地域での貼り出しは、例えば医師会、歯科医師会、薬剤師会と連携し、各病院に貼れば、大きな宣伝効果が得られるのではないのでしょうか。市全体が健康のまちづくりに取り組んでいることを周知させ、住民の認知度向上と健康のまちづくりへの協力につなげるべきではないでしょうか。

3点目は、本市ホームページでの健都のアピールの強化を要望いたします。具体的に、本市が取り組んでいる事項、例えば市の健都政策、国立循環器病研究センターと連携した講座の開設など、誘致する企業や健都ポスターで関心を持たれた方が、本市ホームページを閲覧した際に、彼らが望む情報をしっかりと提供できるよう、作成する必要があるかと思えます。

まだまだ要望事項はございますが、まずは少なくとも確実に実行していただきたいこの3点に絞って要望させていただきました。何度も申しますが、健都は本市の将来を左右する一大事業です。健都はまだ開発途中です。だからこそ、各組織と地域と連携して、一層真剣に取り組み、関与し、本市の宝に育てていかなければなりません。予防医療と健康増進のまち摂津として誇りを持ってアピールできるよう、市としての一層のてこ入れとその具体化を期待いたします。